

週刊
観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

第2部

中学教育旅行特集

自然、歴史、文化の宝庫 高知県での体験

嶺北広域 四国の真ん中「嶺北」で自然を体感



ラフティング体験



家族のついでに過ごす民泊体験

嶺北広域は、四国のちょうど真ん中に位置し、主産業は農林業で、中山間の気候と特色を生かした作物・商品づくりが行われている。「四国三郎」として知られる吉野カとも呼ばれ、日本最高クラスの川が横断しており、自然豊かな山や川ではさまざまな自然体験や山の暮らし体験では、酪農体験や

竹細工作りなど、地域に伝わる山の暮らしを体験するプログラムに なっている。民泊体験 民泊体験では、自然を受け入れ自然と共に暮らす営みありのま まに体験する内容となっており、受け入れ家庭では、愛情を持って生徒と家族のように接する。この民泊体験は、人との交流や食の大切さ、自然と人の共生について学ぶことができる内容となっている。

高幡広域 山川海のわくわく体験・おいしさ体験



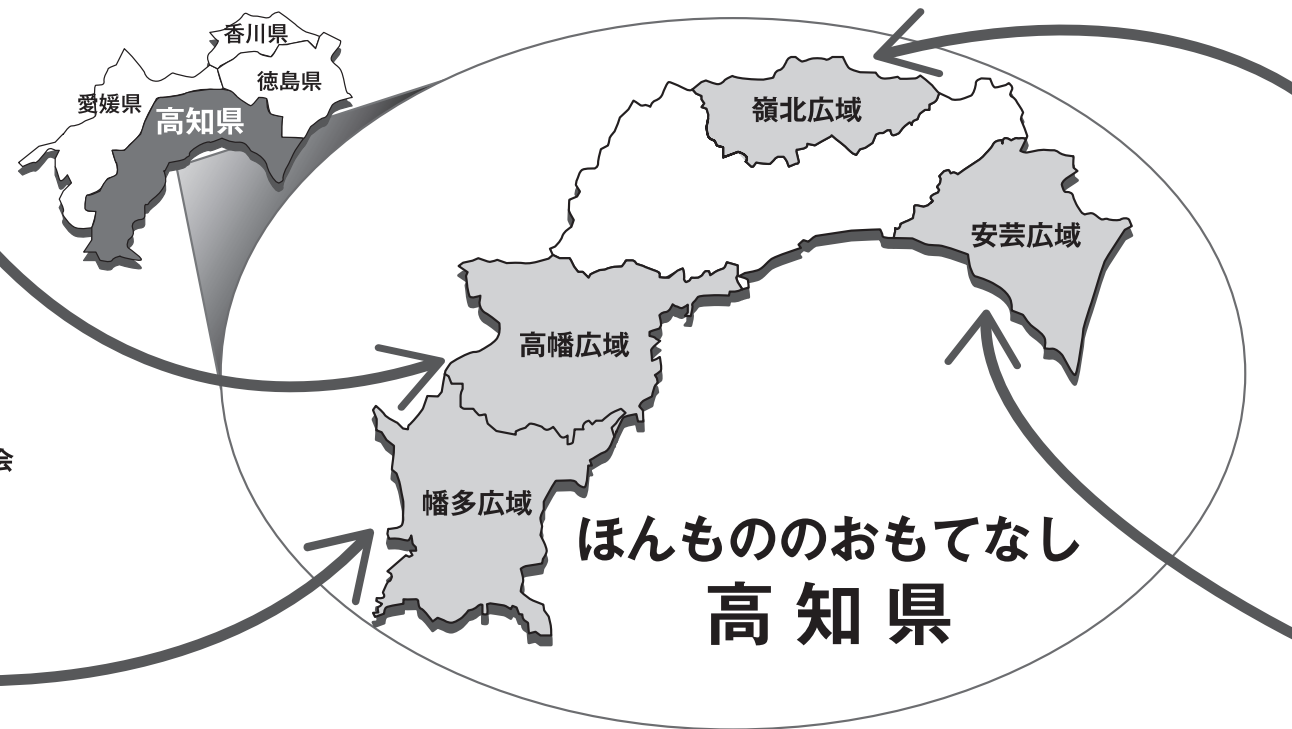
鯉のタタキ作り体験



ドラゴンカヌー体験

高幡広域は、高知県中西部にあつたため、地域博覧会「2016奥四万十博」の開催決定し、高幡地域の魅力を全国に発信していく。2016年4月から、この工本準備している。本格焼きタタキ作り体験は、タタキはここだけの魅力だ。

高知名物「本格焼きタタキ」作り体験は、インストラクターの指導のもと、鯉のさばきだけだけでなく、鯉の生葉や豆知識が学べる。体験で味わえるぬくぬく、塩タタキはここだけの魅力だ。ドラゴンカヌー体験 県内唯一のドラゴンカヌー場である穏やかな浦の内湾で体験できる団体メニュー。20人程度からの受け入れが可能で、インストラクターが楽しく教えてくれる。仲間と掛け声を合わせてカヌーを漕ぎ、絆も深まること間違いなし。



ほんもののおもてなし 高知県

嶺北 広域

問い合わせ先
嶺北地域観光・交流推進協議会
〒781-3601 本山町本山 946-6
中央東土木事務所 本山事務所 1階
Tel : 0887-70-1015
Fax : 0887-70-1016
Mail : reihoku.aeru@gmail.com
URL http://www.reihoku.in/

問い合わせ先
安芸広域市町村圏事務組合
〒784-0045 高知県安芸市伊尾木 4034番地
Tel : 0887-32-0332
Fax : 0887-32-0323
Mail : toubuhaku@wish.ocn.ne.jp
URL http://kochi-toubu.jp/

安芸 広域

高知家・まるごと東部博 開催中(～2015.12.23)

高知県は、最後の清流と言われる「四万十川」や世界認定を受けた「室戸世界ジオパーク」などの豊富な自然、歴史や文化を生かした体験プログラムが数多くそろっている。受け入れ地域は、安芸広域、嶺北広域、高幡広域、幡多広域の四つ。これは、来年3月に体験型観光に携わる関係者が集う「第12回全国ほんもの体験フォーラム」の会場となり、そのプログラムが視察もする、体験型観光受け入れの先進地だ。修学旅行の行き先として人気を集めている。

安芸広域 ジオの恵み・東部まるごと体験

安芸広域は、世界認定を受けたりや文化、産業に触れることができて「室戸世界ジオパーク」をはじめ、室戸世界ジオパークガイド各地に特徴ある地形ポイントや自然、歴史や文化を生かした体験プログラムが数多くそろっている。受け入れ地域は、安芸広域、嶺北広域、高幡広域、幡多広域の四つ。これは、来年3月に体験型観光に携わる関係者が集う「第12回全国ほんもの体験フォーラム」の会場となり、そのプログラムが視察もする、体験型観光受け入れの先進地だ。修学旅行の行き先として人気を集めている。



室戸世界ジオパークガイド



農業体験(なす収穫)

幡多広域 黒潮・清流・里山の魅力体験

幡多広域は、黒潮・清流・里山の魅力体験。黒潮は、日本最後の「四万十川」を、四万十川で行う「カヌー体験」を中心に「足摺岬」など山、川、海は、初心者でも安全かつ気軽に体験できる。水面上に広がる多様な自然環境に恵まれて、体験することができる。水面に近い。その山、川、海と多様な自然、カヌーから見る自然環境は都会で環境を生かして現在70を超える体験、見ることのできる貴重な体験と



四万十川カヌー体験



民泊体験(受け入れ先の家族との触れ合い)

なり、現在150人まで一度に体験することが可能だ。防災体験 想定されている最大級の津波の高さを体感したり、先人から伝えられてきた津波の歴史を学ぶことで各々が被害を想定し、防災意識を高め、「生きる力」を養う。体験の中では、自分たちの地域でどういった対策ができるかを話し合う場面もあり、地元での防災対策を考える機会にもなっている。民泊体験 現在80軒を超えて最大1日300人程度の受け入れが可能。農業体験をはじめ、四万十川での川漁体験など地域で生活する人たちの暮らしをそのまま体験できる。

第12回全国 2016年3月 25日(金) 26日(土) 27日(日)

ほんもの 体験フォーラム in 高知

【開催にあたって】 このたび、高知県で「第12回全国ほんもの体験フォーラムin高知」を開催することとなりました。高知県では都会で失われかけている「人と人のつながり」が、豊かな自然や温暖な気候風土の中で、生まれながら息づいています。まるで高知県がひとつの大家族のように。最後の清流といわれる「四万十川」や、製作期間1億年?のジオパークを体感できる「室戸世界ジオパークセンター」、また県魚でもあるカツオをさらに美味しく味わえる「カツオのタタキ」など、高知にお越しいただいた皆様に、高知での「ほんもの」を思う存分体験していただきたいと思ひます。是非とも、このフォーラムを通じて、「高知家」の「おもてなし」をご堪能ください。皆様のお越しを心からお待ちしております。

プログラム
3月25日 全体フォーラム
(事例発表・公開パネルディスカッション・情報交換会)
会場:土佐西南大規模公園 体育館(黒潮町)
(情報交換会)新ロイヤルホテル四万十(四万十市)
26日 課題別研究分科会
会場:大月町、黒潮町、土佐清水市、須崎市、本山町、安芸市
体験ツアー(～27日)
エリア:幡多広域、高幡広域、嶺北広域、安芸広域
【主催】第12回全国ほんもの体験フォーラムin高知実行委員会
【共催】全国ほんもの体験ネットワーク
【お問い合わせ】第12回全国ほんもの体験フォーラムin高知実行委員会事務局
高知県観光振興部地域観光課 ☎088-823-9706